

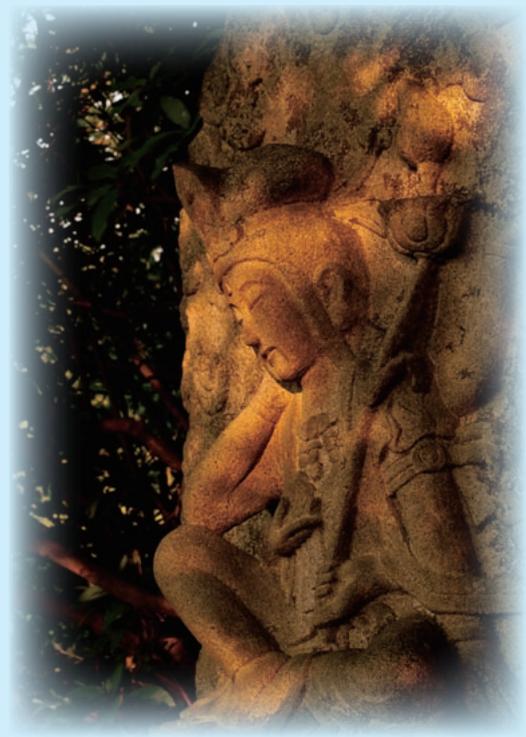


笑顔育むまち

KANMAKI

上牧町 町勢要覧

2014



子どもたちこそまちの未来

子育て世代をしっかりと支援できる環境を整え、
子どもたちの健やかな成長をサポートします。



子育て

子どもたちの笑顔





保健センターでの検診



ペガサス教室



心豊かな人間育成

上牧町の未来をになう子どもたちは、学びの中で豊かな人間力を醸成しています。



教 育

子どもたちの笑顔



上牧町教育施設



上牧中学校



上牧第二中学校



上牧小学校



上牧第二小学校



上牧第三小学校



上牧幼稚園



上牧第一保育所



こども議会



地域の笑顔

安全
安心



自治連合会防犯活動

地域ので守る

豊かで笑顔あふれる毎日を過ごすには、まず「安全・安心」があつてこそ。

救急救命講習



災害図上訓練 DIG



出初式



犯罪ゼロ・チャレンジ100日作戦出発式



交通安全教室

安全・安心パトロール



繋がりこそ賑わいの源

住民どうしの繋がりと協力が力の源となり、
地域に活気と賑わいをもたらします。

繋がり
その1

地
域
の
笑
顔



ペガサスフェスタ



滝川のこいのぼり



桜ヶ丘まつり



地域の笑顔

繋がり その2



こども議会



上牧中学校清掃奉仕

上牧町まちづくり基本条例

町民・議会・行政が心をつなげて奏でる
ハーモニー

「上牧町まちづくり基本条例」が平成26年4月1日から施行されます。この条例は上牧町のまちづくりに関する基本的事項を定めることにより、町民、議会、町長をはじめとする執行機関が、それぞれの役割を自覚し、互いに協働して、町民を主体とした自治に基づく豊かで暮らしやすい地域社会を実現することを目的としています。この条例に込められた趣旨と理念を理解し尊重しながら、基本的なルールに従って、町民が主役のまちづくりを進めていきます。

まちづくりの基本原則

- ①町民、議会、執行機関は、まちづくりに関する情報を共有します。
- ②まちづくりは、町民が参画し、議会及び執行機関と協働して行います。
- ③議会及び執行機関は、職務を誠実に遂行するとともに、町民に対し説明責任を果たします。
- ④まちづくりは、計画に立脚して行い、その結果を検証及び評価し、まちづくりの改善に役立てます。



人生に彩りを

学びやスポーツを通じてやりがいや目標を持つこと、それは人生をさらに彩り豊かに変えてくれます。



町民体育祭



ソフトボール大会

生涯学習
スポーツ

地域の
笑顔



文化祭



文化教室



町民プール



図書館



快適な生活環境と伝統の調和

伝統的町並みと新しいまち、暮らしに密着した商業施設や大型商業施設が共存しています。

生活
環境

く
ら
し
に
笑
顔





豊かな自然と歴史が息づくまち

生活のすぐそばに豊かな自然や歴史文化が根付いています。知れば知るほど好きになる。そんな魅力が上牧にはたくさんあります。



笹ゆりウォーク



自然

くらしに笑顔





明るく健康に生きる

健康的で前向きな気持ちで毎日を過ごせる環境づくりを推進し、コミュニティの活性化にも取り組んでいます

高齢福祉

くらしに笑顔



高齢者体力測定





グラウンドゴルフ



ゲートボール



2000年会館

高齢者福祉の拠点としての機能と、世代を超えた交流を目的としたコミュニティーセンターとして上牧町民の方なら、どなたでも研修・会議・文化活動などで幅広くご利用いただける施設です。



歴史に想いを馳せる

上牧の地には素晴らしい歴史の宝物があります。いにしえの人々は、その英知と努力を古墳や出土品というかたちで今に伝えてくれます。



歴史

くらしに笑顔

画文帯神獣鏡（久渡3号墳出土）

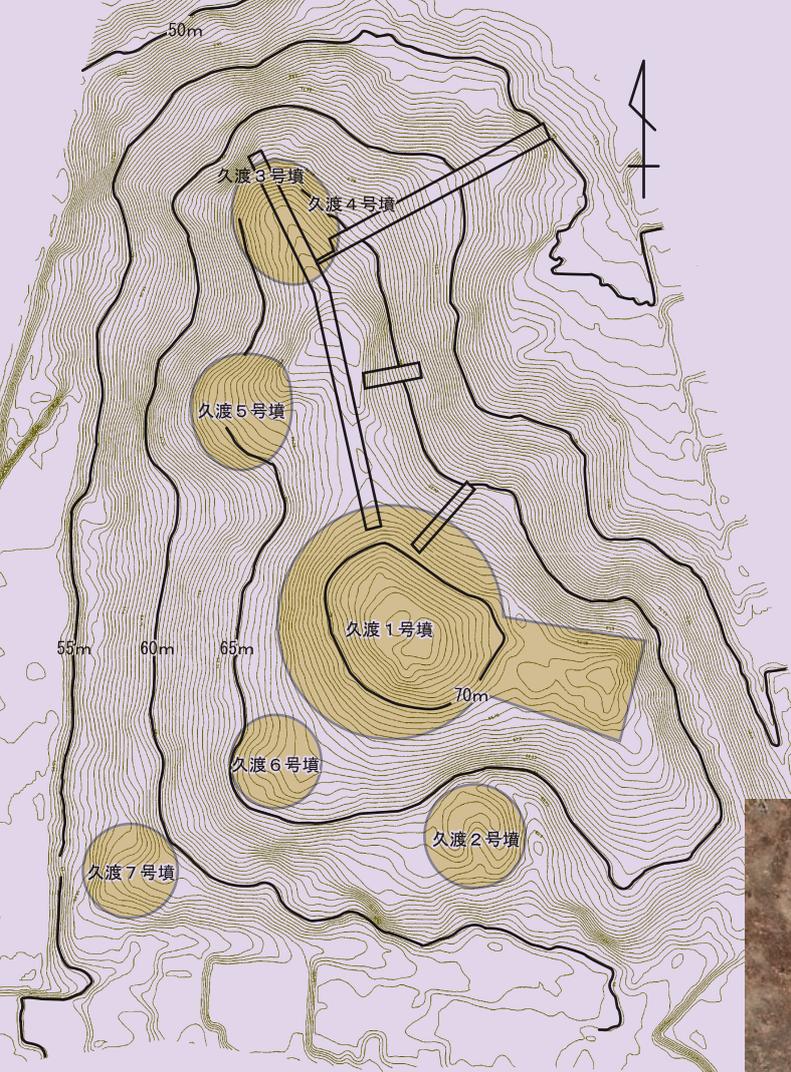


上牧銅鐸

江戸時代に観音山から出土したこの銅鐸がにわかには脚光を浴びたのは平成8年のこと。島根県の岩倉遺跡から出土した銅鐸のひとつが上牧銅鐸とサイズや紋様が一致し、同じ鋳型で造られた兄弟銅鐸であることが確認されたのです。

兄弟銅鐸の出土は数例しかなく、弥生時代における出雲と近畿の関係や製造地、流通、用途など謎に包まれた銅鐸の真実に迫る貴重な出土品として注目されています。





久渡古墳群 (1/1200)

他に例のない特色ある古墳群

久渡古墳群は画文帯神獣鏡を出土した古墳時代初頭の3号墳から飛鳥時代の2号墳まで、長期にわたって、特色ある古墳が築かれています。

平成24年からは3ヵ年計画で古墳群の調査が行われ、第4次調査として久渡2号墳の調査が実施されました。その結果、石室床において一面に凝灰岩片を厚く敷くという他に例をみない構造と、赤褐色の石材と灰白色の床面によって荘厳化された石室、大量の石材が明神山・高山石切場遺跡という遠方から運ばれてきたこと、用途はわかりませんが飛鳥時代の寺院に使われる平瓦が横穴式石室墳でかなり見つかったことなど、数多くの特色が見えてきました。

古代の木簡や文献には、この付近が飛鳥・奈良時代に皇室の所領で陵墓も存在していたことが記されており、馬見丘陵付近では比較的大型の特徴的な飛鳥時代の古墳であることから、被葬者はかなり高位の人物であったと思われます。



片岡城跡

片岡城跡は、南北に伸びた馬見丘陵の最北端、下牧集落の背後にあり、河内から明神山の北を越え、田原本に至る古道に面し、俗に「城山」と呼ばれています。城山の西の片岡谷一帯が中世の興福寺一乗院領の諸荘園であり、下牧集落の東を流れる滝川一帯には牧山上荘下荘が展開していました。これらの荘園を本拠に成長した国人片岡氏が片岡城を築きました。片岡氏は後に河内国の松永久秀によって滅ぼされ、片岡城も天正五年(1577)には明智光秀の軍に落とされ、今は城跡だけが残っています。



議会

町民の声を町政に

上牧町議会は町民を代表する12人の議員で構成され、町政の基本となる条例や予算などを審議、決定する議決機関です。

町の行政が適切に行われているかをチェックし、町民の意見を行政に届けることで、町政をより良い方向に進めるべく努めています。



議員側



理事者側

交通アクセス

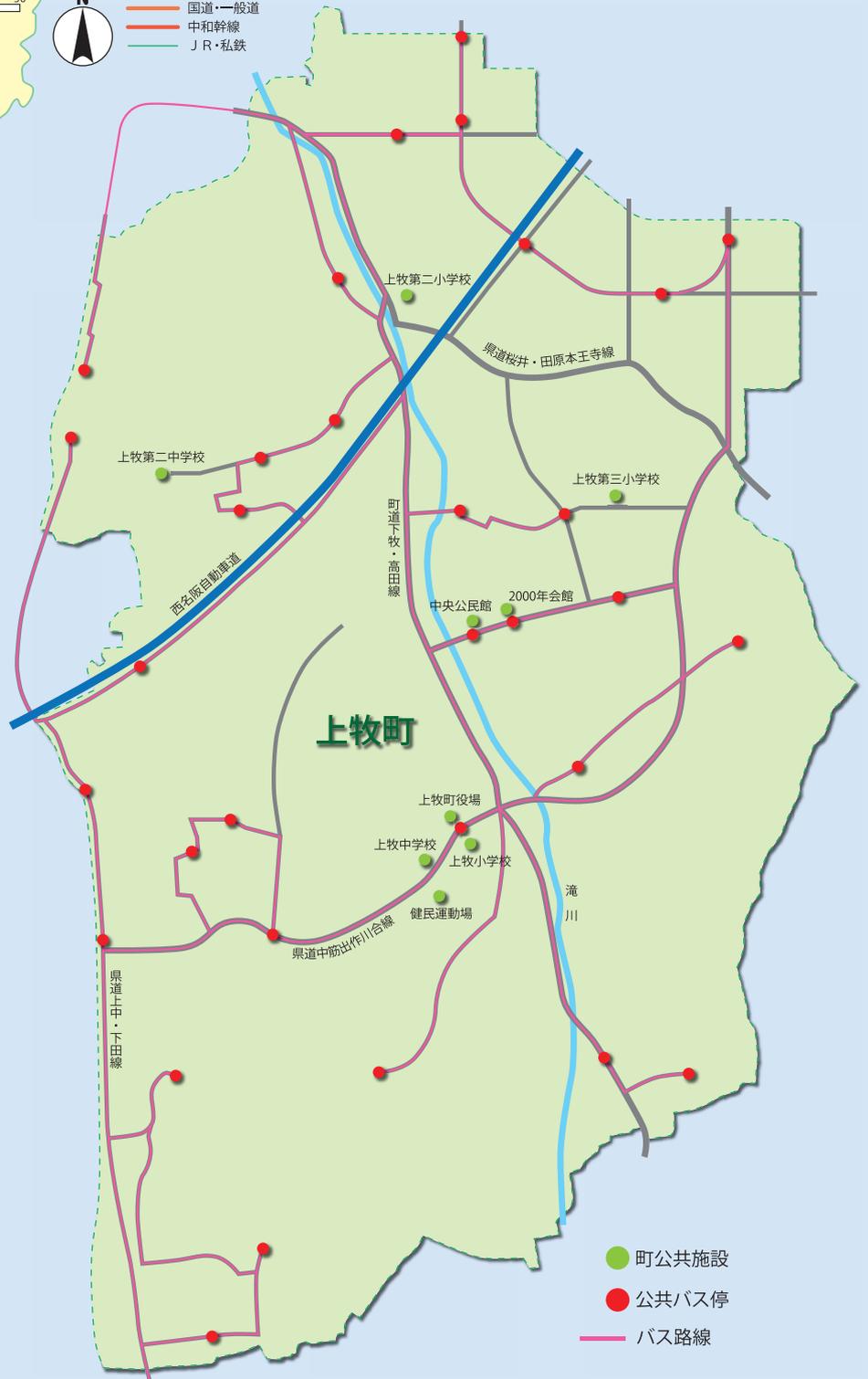


近畿圏アクセス

上牧町は近畿のほぼ中央に位置し、周辺の主要都市へのアクセスに優れています。

町内道路網

町内の主な住宅地を網羅する形で公共バス交通網が発達しています。また、公共施設や大型商業施設にもアクセスしやすく、住民にとって便利な移動手段となっています。



かんまぎイラストマップ



ささゆりの里

かんまき



上牧フォトアーカイブス





◆人口の推移 (H25現在)

年度	人口
平成25年	23,696
平成24年	23,960
平成23年	24,061
平成22年	24,307
平成21年	24,607
平成20年	24,818
平成19年	25,071
平成18年	25,255
平成17年	25,507
平成16年	25,453
平成15年	25,486
平成14年	25,379
平成13年	24,900
平成12年	24,611
平成11年	24,540
平成10年	24,467
平成9年	24,545
平成8年	24,525
平成7年	24,375
平成6年	24,066
平成5年	23,197
平成4年	22,688
平成3年	22,052
平成2年	21,795
平成元年	21,449

◆年齢別人口 (H25現在)

男性	歳	女性
2	100 - 104	17
10	95 - 99	77
49	90 - 94	197
152	85 - 89	392
257	80 - 84	456
516	75 - 79	565
778	70 - 74	807
891	65 - 69	1023
936	60 - 64	1096
674	55 - 59	757
711	50 - 54	787
787	45 - 49	803
880	40 - 44	901
752	35 - 39	808
535	30 - 34	547
528	25 - 29	574
612	20 - 24	575
641	15 - 19	609
667	10 - 14	591
571	5 - 9	467
334	0 - 4	364

◆国民健康保険の状況

年度	保険加入者数	保険給付費
平成24年度	6,312	1,827,641,081

◆介護保険の状況 (H24年度)

要介護(支援) 設定者数							
要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
137	136	150	207	137	95	64	926

サービス受給者数			保険給付費
在宅サービス受給者数	施設サービス受給者数	合計	
590	157	747	1,184,074,190

◆道路状況 (H25年4月1日現在)

県道		町道		西名阪自動車道	
総延長	舗装率	総延長	舗装率	総延長	舗装率
5904m	100%	86099m	97.6%	2060m	100%

◆下水道の普及率

年度	処理区域内人口	普及率
平成24年度	22154	93.49%

◆上水道の給水人口と配水量

年度	年間総配水量	給水人口	給水戸数
平成24年度	1,969,635m ³	19,668人	6,845戸

◆ゴミ収集人口及び排出量

年度	人口	世帯数	総排出量	排出量一世帯当たり
平成24年度	23696	9741	4,277 t	349kg

◆図書館蔵書状況(H25年度)

	総記	哲学	歴史	社会科学	自然科学	技術	産業	芸術	言語	文学	絵本	総数	紙芝居	ビデオ	CD	DVD
一般	1,353	2,045	5,191	6,511	3,108	4,184	2,031	4,740	939	24,225		54,327	522	530	243	171
児童	329	198	1,446	1,135	1,802	706	466	1,137	275	7,786	5,987	21,267				

◆消防団及び消防団の編成(H25現在)

	役職	人数
本部	団長	1
	副団長	3

	役職	人数
第1分団	分団長	1
	副分団長	1
	分隊長	2
	班長	4
	団員	22
	合計	30
第2分団	分団長	1
	副分団長	1
	分隊長	2
	班長	4
	団員	22
	合計	30
第3分団	分団長	1
	副分団長	1
	分隊長	2
	班長	4
	団員	22
	合計	30
第4分団	分団長	1
	副分団長	1
	分隊長	2
	班長	4
	団員	22
	合計	30
女性消防隊	分団長	1
	副分団長	1
	分隊長	1
	班長	2
	団員	9
	合計	14

◆学校・園別児童生徒数(H25年4月現在 (単位:人))

区分	学校・幼稚園名	学級数	園児・児童・生徒数			教員数
			男	女	計	
幼稚園	上牧幼稚園	9	91	95	186	14
小学校	上牧小学校	21	358	267	625	37
	上牧第二小学校	15	242	194	436	30
	上牧第三小学校	10	125	112	237	19
	計	46	725	573	1298	86
中学校	上牧中学校	15	251	233	484	35
	上牧第二中学校	9	123	130	253	22
	計	24	374	363	737	57

◆消防施設の状況(H25年度)

消防ポンプ自動車	小型動力ポンプ積載車	指令車	防火水槽	消火栓
6台	5台	1台	46基	603基

◆火災件数(各年12月31日現在)

年	火災発生件数				罹災世帯数	死傷者数		焼損面積	
	総数	建物	林野	その他		死亡	負傷	建物	林野
平成21年	7	4		3	1			782m ²	
平成22年	9	7		2	4	1		332m ²	
平成23年	3	3			3	1	1	10m ²	
平成24年	4	2		2	3			154m ²	
平成25年	4	3		1					

◆救急事故別搬送状況(各年12月31日現在 (単位:人))

年	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	急病	その他	計
平成21年	74	1	1	96	411	110	693
平成22年	62	9	1	106	443	119	740
平成23年	63	4		99	453	112	731
平成24年	72	9	3	129	469	100	782
平成25年	85	6	2	133	564	91	881

◆歴代村・町長

代	氏名	在任期間
初代	牧 浦 小重郎	明治22年6月6日 ~ 明治44年5月25日
2	吉 村 仙 吉	明治44年7月22日 ~ 昭和5年12月16日
3	黒 松 伊 平	昭和5年12月24日 ~ 昭和15年12月22日
4	杉 田 杉太郎	昭和15年12月23日 ~ 昭和21年10月23日
5	服 部 安 司	昭和21年12月18日 ~ 昭和24年4月2日
6	服 部 憲 春	昭和24年5月7日 ~ 昭和29年9月8日
7	松 本 甚 一	昭和31年1月17日 ~ 昭和35年1月15日
8	在 原 脩	昭和35年1月16日 ~ 昭和47年11月30日
(昭和47年12月1日町制施行により上牧町となる)		
初代	在 原 脩	昭和47年12月1日 ~ 昭和59年1月15日
2	武 安 正 男	昭和59年1月16日 ~ 平成9年2月3日
3	杉 田 重 雄	平成9年3月23日 ~ 平成21年3月22日
4	今 中 富 夫	平成21年3月23日 ~ 現在に至る

◆歴代副議長

代	氏名	在任期間
初代	上 村 熊治郎	昭和22年5月18日 ~ 昭和22年7月31日
2	土 井 貞治郎	昭和22年8月1日 ~ 昭和23年5月7日
3	上 村 熊治郎	昭和23年5月8日 ~ 昭和24年5月7日
4	服 部 賢 一	昭和24年5月8日 ~ 昭和25年5月9日
5	萩 原 義 信	昭和25年5月10日 ~ 昭和27年5月7日
6	青 木 源治郎	昭和27年5月8日 ~ 昭和28年5月11日
7	武 安 庄 作	昭和28年5月12日 ~ 昭和29年5月8日
8	萩 原 義 信	昭和29年5月9日 ~ 昭和30年4月29日
9	蒲 池 又 平	昭和30年5月10日 ~ 昭和31年5月11日
10	萩 原 義 信	昭和31年5月12日 ~ 昭和32年5月13日
11	上 村 熊治郎	昭和32年5月14日 ~ 昭和33年5月9日
12	武 安 庄 作	昭和33年5月10日 ~ 昭和34年4月29日
13	和 田 義 雄	昭和34年5月12日 ~ 昭和35年5月6日
14	辻 本 重 次	昭和35年5月13日 ~ 昭和36年5月13日
15	武 安 正 男	昭和36年5月14日 ~ 昭和38年4月29日
16	田 中 幸 治	昭和38年5月15日 ~ 昭和40年5月8日
17	竹 島 藤 吉	昭和40年5月9日 ~ 昭和41年5月7日
18	中 川 昭 雄	昭和41年5月8日 ~ 昭和46年4月29日
19	芳 倉 清 次	昭和46年5月18日 ~ 昭和47年11月30日
(昭和47年12月1日町制施行により上牧町となる)		
初代	芳 倉 清 次	昭和47年12月1日 ~ 昭和50年4月29日
2	杉 浦 剛	昭和50年5月7日 ~ 昭和50年12月17日
3	上 村 義 一	昭和50年12月18日 ~ 昭和52年5月20日
4	柳 原 清八郎	昭和52年5月21日 ~ 昭和53年5月28日
5	坂 本 忠 夫	昭和53年5月29日 ~ 昭和58年4月29日
6	坂 井 博 見	昭和58年5月12日 ~ 昭和58年12月1日
7	服 部 信 男	昭和58年12月21日 ~ 昭和60年5月10日
8	上 村 京千代	昭和60年5月10日 ~ 昭和61年5月13日
9	吉 田 純 三	昭和61年5月13日 ~ 平成元年5月15日
10	江 崎 正 和	平成元年5月15日 ~ 平成2年5月15日
11	中 川 昭 彦	平成2年5月15日 ~ 平成3年4月29日
12	田 島 庸 行	平成3年5月7日 ~ 平成5年5月14日
13	吉 川 米 義	平成5年5月14日 ~ 平成5年9月3日
14	東 充 洋	平成5年9月3日 ~ 平成6年5月24日
15	木 内 利 雄	平成6年5月24日 ~ 平成8年5月10日
16	芳 倉 利 次	平成8年5月10日 ~ 平成9年5月16日
17	吉 中 隆 昭	平成9年5月16日 ~ 平成10年5月22日
18	東 充 洋	平成10年5月22日 ~ 平成11年5月14日
19	今 中 伸 行	平成11年5月14日 ~ 平成12年5月11日
20	服 部 公 英	平成12年5月11日 ~ 平成13年5月18日
21	康 村 昌 史	平成13年5月18日 ~ 平成14年5月10日
22	武 田 千加代	平成14年5月10日 ~ 平成15年4月29日
23	吉 中 隆 昭	平成15年5月8日 ~ 平成17年5月12日
24	石 丸 典 子	平成17年5月12日 ~ 平成18年5月11日
25	池 田 一 志	平成18年5月11日 ~ 平成19年4月29日
26	富 木 つや子	平成19年5月10日 ~ 平成20年5月12日
27	服 部 公 英	平成20年5月12日 ~ 平成21年2月24日
28	堀 内 英 樹	平成21年3月6日 ~ 平成21年5月8日
29	康 村 昌 史	平成21年5月8日 ~ 平成22年5月10日
30	堀 内 英 樹	平成22年5月10日 ~ 平成23年4月29日
31	堀 内 英 樹	平成23年5月12日 ~ 平成24年6月20日
32	辻 誠 一	平成24年6月20日 ~ 現在に至る

◆歴代議長

代	氏名	在任期間
初代	竹 島 重太郎	昭和22年5月18日 ~ 昭和22年7月31日
2	服 部 憲 春	昭和22年8月1日 ~ 昭和23年5月7日
3	吉 川 謙 蔵	昭和23年5月8日 ~ 昭和24年3月30日
4	萩 原 清一郎	昭和24年5月8日 ~ 昭和25年5月9日
5	芳 倉 正 治	昭和25年5月10日 ~ 昭和26年4月29日
6	蒲 池 又 平	昭和26年5月14日 ~ 昭和27年5月7日
7	芳 倉 正 治	昭和27年5月8日 ~ 昭和28年5月11日
8	青 木 源治郎	昭和28年5月12日 ~ 昭和29年5月8日
9	蒲 池 又 平	昭和29年5月9日 ~ 昭和30年4月29日
10	萩 原 義 信	昭和30年5月10日 ~ 昭和31年5月11日
11	蒲 池 又 平	昭和31年5月12日 ~ 昭和32年5月11日
12	宮 城 文 作	昭和32年5月12日 ~ 昭和33年5月9日
13	蒲 池 又 平	昭和33年5月10日 ~ 昭和34年4月29日
14	芳 倉 正 治	昭和34年5月12日 ~ 昭和35年5月6日
15	和 田 義 雄	昭和35年5月13日 ~ 昭和36年4月30日
16	中 山 久 吉	昭和36年5月14日 ~ 昭和38年4月29日
17	辻 本 重 次	昭和38年5月15日 ~ 昭和40年5月8日
18	田 中 幸 治	昭和40年5月9日 ~ 昭和41年5月7日
19	辻 本 重 次	昭和41年5月8日 ~ 昭和47年11月30日
(昭和47年12月1日町制施行により上牧町となる)		
初代	辻 本 重 次	昭和47年12月1日 ~ 昭和50年4月29日
2	武 安 正 男	昭和50年5月7日 ~ 昭和50年12月16日
3	杉 浦 剛	昭和50年12月17日 ~ 昭和52年5月20日
4	上 村 京千代	昭和52年5月21日 ~ 昭和53年5月28日
5	武 安 正 男	昭和53年5月29日 ~ 昭和58年12月10日
6	坂 本 博 見	昭和58年12月21日 ~ 昭和60年5月10日
7	服 部 信 男	昭和60年5月10日 ~ 昭和61年5月10日
8	柳 原 清八郎	昭和61年5月13日 ~ 昭和61年9月19日
9	服 部 信 男	昭和61年9月19日 ~ 昭和62年4月29日
10	上 村 京千代	昭和62年5月13日 ~ 平成元年5月15日
11	松 井 忠 夫	平成元年5月15日 ~ 平成3年4月29日
12	中 川 昭 彦	平成3年5月17日 ~ 平成5年9月3日
13	辰 巳 親 男	平成5年9月3日 ~ 平成6年5月24日
14	吉 川 米 義	平成6年5月24日 ~ 平成8年5月10日
15	田 島 庸 行	平成8年5月10日 ~ 平成9年5月16日
16	芳 倉 利 次	平成9年5月16日 ~ 平成10年9月10日
17	吉 川 米 義	平成10年9月10日 ~ 平成11年5月14日
18	木 内 利 雄	平成11年5月14日 ~ 平成13年5月18日
19	吉 川 米 義	平成13年5月18日 ~ 平成14年5月10日
20	今 中 伸 行	平成14年5月10日 ~ 平成15年4月29日
21	吉 川 米 義	平成15年5月8日 ~ 平成17年5月12日
22	吉 中 隆 昭	平成17年5月12日 ~ 平成18年5月11日
23	芳 倉 利 次	平成18年5月11日 ~ 平成19年4月29日
24	吉 川 米 義	平成19年5月10日 ~ 平成21年5月8日
25	芳 倉 利 次	平成21年5月8日 ~ 平成23年4月29日
26	東 充 洋	平成23年5月12日 ~ 平成25年5月10日
27	富 木 つや子	平成25年5月10日 ~ 現在に至る

◆歴代収入役

代	氏名	在任期間
初代	澤井清平	明治22年6月6日～明治24年3月1日
2	鍋島久次郎	明治24年3月2日～明治24年7月2日
3	今中藤吉	明治24年7月3日～明治31年5月1日
4	今中新太郎	明治31年5月2日～明治35年5月15日
5	竹島奈良造	明治35年5月16日～明治36年5月1日
6	芳倉奈良次郎	明治36年6月15日～明治36年8月1日
7	西浦定治郎	明治36年8月15日～大正8年8月31日
8	松井滝司	大正8年9月1日～大正10年8月1日
9	杉田杉太郎	大正10年8月15日～大正12年4月10日
10	松井忠吉	大正12年5月11日～昭和11年8月20日
11	吉田重男	昭和11年8月25日～昭和21年10月4日
12	吉田三郎	昭和21年10月6日～昭和23年7月1日
13	肱岡三郎	昭和23年8月15日～昭和31年8月25日
14	吉川治	昭和31年9月30日～昭和35年12月28日
15	肱岡三郎	昭和36年1月16日～昭和47年11月30日
(昭和47年12月1日町制施行により上牧町となる)		
初代	肱岡三郎	昭和47年12月1日～昭和59年3月31日
2	杉田重雄	昭和59年4月1日～昭和62年3月31日
3	池田昌弘	昭和62年4月1日～平成9年5月31日
4	青木初代	平成9年6月1日～平成13年6月30日
5	浅芝辰夫	平成13年7月1日～平成18年3月31日
(平成19年4月1日地方自治法第168条の改正により会計管理者に改める)		

◆歴代助役・副町長

代	氏名	在任期間
初代	井尻新重郎	明治22年6月1日～明治34年4月30日
2	今中藤吉	明治35年5月1日～明治36年4月30日
3	田中久吉	明治36年5月1日～明治36年6月30日
4	吉村仙吉	明治36年7月1日～明治44年7月21日
5	黒松富次郎	明治44年8月1日～大正5年3月21日
6	鍋島久一	大正5年4月1日～大正10年3月15日
7	井尻勝治	大正10年3月25日～大正12年3月31日
8	杉田杉太郎	大正12年4月11日～昭和15年12月22日
9	山崎煤次郎	昭和15年12月25日～昭和21年8月22日
10	吉田重男	昭和21年10月5日～昭和22年5月1日
11	竹島重太郎	昭和22年6月1日～昭和23年8月1日
12	吉田三郎	昭和23年9月30日～昭和26年1月13日
13	浅井正矩	昭和26年9月18日～昭和30年8月11日
14	吉田三郎	昭和31年2月3日～昭和45年3月26日
15	出川忠繁	昭和45年6月26日～昭和47年11月30日
(昭和47年12月1日町制施行により上牧町となる)		
初代	出川忠繁	昭和47年12月1日～昭和49年6月25日
2	川辺英雄	昭和50年6月26日～昭和61年8月21日
3	杉田重雄	昭和62年4月1日～平成9年3月4日
4	池田昌弘	平成9年6月1日～平成13年5月31日
5	青木初代	平成13年7月1日～平成19年3月31日
(平成19年4月1日地方自治法第161条の改正により副町長に改める)		
初代	田中一夫	平成25年4月1日～現在に至る

◆一般会計決算の推移

	歳入	歳出	歳入歳出差引	実質収支
平成22年度	8,413,329千円	8,264,206千円	149,123千円	141,916千円
平成23年度	7,270,734千円	6,991,598千円	279,136千円	266,926千円
平成24年度	7,708,730千円	7,394,546千円	314,184千円	257,812千円

◆町税収入の状況

	町民税	固定資産税	その他	合計
平成22年度	1,173,932千円	793,103千円	140,392千円	2,107,427千円
平成23年度	1,135,868千円	778,054千円	155,950千円	2,069,872千円
平成24年度	1,154,652千円	732,331千円	162,597千円	2,049,580千円

◆特別会計決算 平成24年度

会計	歳入	歳出
国民健康保険	2,907,452千円	2,759,772千円
後期高齢者医療	236,279千円	233,170千円
住宅新築資金等貸付事業	12,825千円	12,519千円
介護保険	1,309,897千円	1,264,022千円
下水道事業	562,014千円	560,422千円

◆水道事業会計決算 平成24年度

		決算
収益的	収入	476,083千円
	支出	439,384千円
資本的	収入	11,010千円
	支出	22,761千円

笑顔が溢れる 上牧の未来像



上牧町長
今中 富夫

住民参画と未来志向型 まちづくり

住民の皆様が「住んで良かった」と思えるまちづくり、これこそが行政にとつての最大の目標であると考えています。

この目標に向かい施策を実施していく中で重要になってくるのが、住民と行政との垣根を越えて互いの意見や問題意識を共有することだと思っています。また、住民の皆様が「自分たちのまちを自分たちでよくする」意識を持ち、行政と力をあわせていく『協働』の概念が大切なキーワードになっています。

そのためには、住民ひとりひとりがこの上牧町に愛着と誇りを持っていただき、

このまちで暮らし、子どもたちを育て、老後を過ごしたいと思ってもらえる環境づくりが必要だと考えます。

上牧町には日本書紀の時代から脈々と続く歴史や文化があり、美しい丘陵地帯には豊かな自然があります。また、住民どうしが協力しあって受け継がれてきた伝統行事や地域の祭りなどの「宝」がたくさんあります。「コミュニティ」のなかに笑顔が生まれ、生きがいが見つかります。

この愛すべき上牧町を私たちは未来を担う子どもたちに受け継いで行かなければなりません。若い世代が活気に溢れ、子どもたちの笑顔でいっぱいの上牧町を住民の皆様と共につくりあげていきたいと願っています。

歴史

「上牧」の呼び名の起こりは、この地一帯がゆるやかな丘陵に抱かれて、放牧に適したところから出ていることは「日本書紀」や「続日本書紀」によってうかがわれ、上の牧、下の牧があったとの口碑が残っています。この地は当時の宮廷人たちの逍遥の地で、しばしばその歩を止めたというほど南上牧東南丘から井戸ヶ尻に至る眺めは素晴らしく、この辺り一帯の丘はすべて古墳だといわれています。

元龜・天正の戦乱の時代になると、片岡氏が上牧に城山を構えて治めていましたが、天正5年10月、その子孫の弥太郎春之の時に、河内国の松永久秀の軍勢により片岡城を追われました。

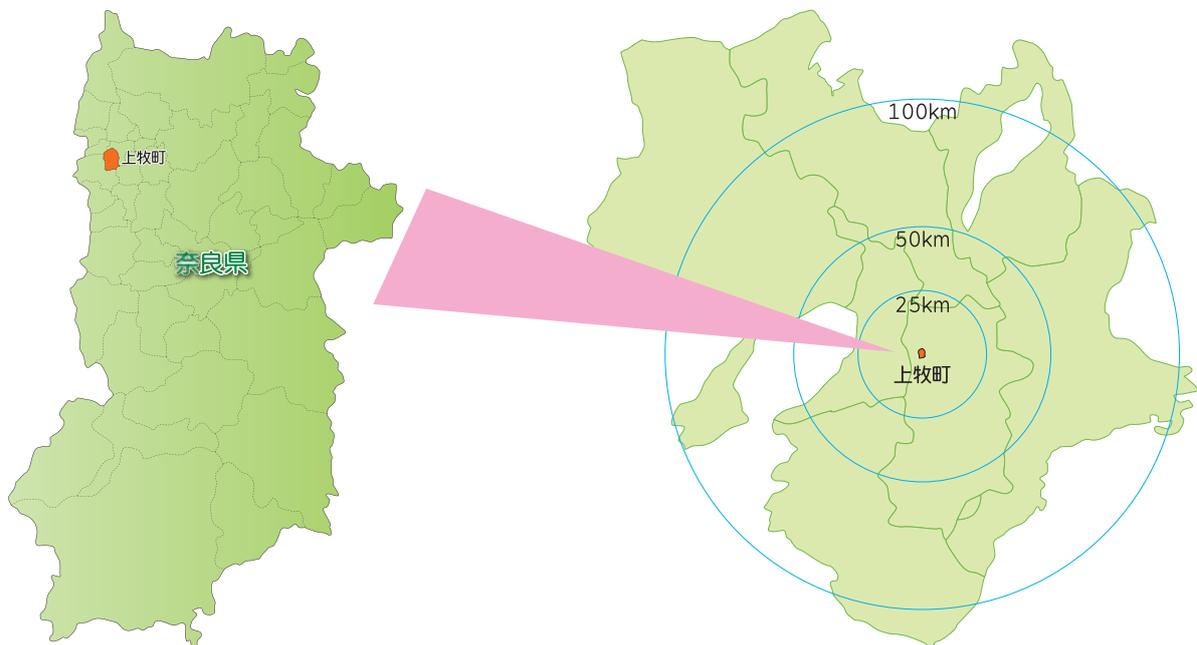
元和以降の上牧は藤林代官による四代73年の支配、下牧は本多大内記正勝らの郡山藩の支配を経て、享保9年、甲府の柳沢甲斐守吉里のもとに上牧・下牧ともども郡山藩(柳沢)の支配に移り、明治維新を迎えました。

自然

上牧町は奈良県の西部、東経135度43分20秒、北緯34度33分40秒に位置し、面積は6.14平方キロメートルで、東西2.1キロメートル、南北3.6キロメートルのほぼ長方形を成しています。

北は王寺町、北東は河合町に、南は広陵町、西は葛下川を挟んで香芝市に接しています。

本町の気候は、近畿中部の特性である内陸性気候を呈し、降水量も少なく一般的に温暖であるため、特産のブドウなどの農作物や果樹栽培に適しています。自然災害も少なく、台風や低気圧の影響を直接受けることはまれです。





町章



町の花／ゆり



町の木／まき

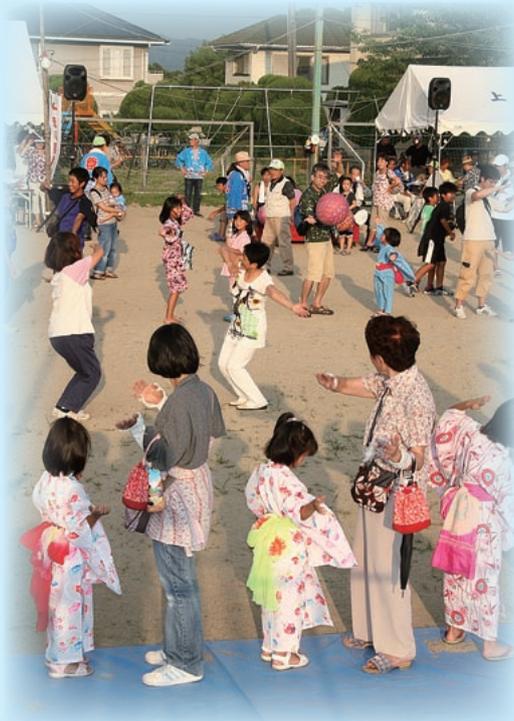
上牧町町民憲章

わたくしたちは美しい自然と緑と太陽の自然に恵まれ
平和で豊かな未来をめざす上牧町の町民です。

- 一、心のふれあいを大切にし
 楽しい町をつくりましょう
- 一、自然を愛しきれいな
 住みよい町をつくりましょう
- 一、健康のよろこびをもち
 明るい町をつくりましょう
- 一、教養を高め文化を育て
 豊かな町をつくりましょう
- 一、みんなのしあわせを願い
 平和な町をつくりましょう

もくじ

35	34	32・33	28～31	26・27	24・25	23	22	14～21	6～13	2～5	
町民憲章 町章・町木・町花	まちの概要	町長からのメッセージ	資料編	上牧町フォトアーカイブス	上牧町イラストマップ	交通アクセス	議会	歴史 高齢福祉 自然 生活環境	くらしに笑顔 スポーツ／生涯学習	地域の笑顔 安心・安全 賑わい ボランティア まちづくり	子どもたちの笑顔 子育て／教育



上牧町ホームページ

<http://www.town.kanmaki.nara.jp/>

上牧町の最新の情報を随時掲載しています。是非ご覧ください。

